

平成 18 年 3 月 3 1 日

新設ダムの検討項目と評価

伊藤益義

項 目	新規ダム	
位 置	既成市街地の直上流の本川の武庫川渓谷出口付近	
ダム規模	ダム天端高 120m、堤高 73m、堤頂長 160m 洪水調節容量 11,250 千 m ³ 、常用洪水吐 上下各 2 門の 4 門	
治水効果	本川最下流、市街地直上のダムとして治水効果が大きい 1/100 の降雨時の治水効果のほか 1/30、1/15 (16 年 10 月降雨) 時の治水効果についての検証が必要	
技術的な観点	基礎岩盤はあるが、表層はもろい地層 六甲山で見られる地盤の上昇活動の影響 湛水試験時の洪水吐閉鎖方法はどうか(ゲート他)	
自然環境への影響	ダム建設工事による影響	工事用道路、転流路の場所方法によっては自然環境に影響を与える 工事完了後の復旧計画によっても影響が出る 濁水の下流への影響 大型重機の騒音、粉塵
	ダムの供用及び存在による影響	河道内、湛水域の自然環境への影響が大(渓谷内の貴重種が失われる) ダム上流部の水質汚染 ダム上流部兩岸の表層岩石、植生の崩落によるダム湖内兩岸岩石、土砂、樹木の堆積及び渓谷景観の喪失 擁壁、トンネルへの影響 廃線跡の枕木流失 減勢溝(水たたき)の環境破壊 魚類等の移動に支障
安全	人口集中地直上の大型ダムによる破壊時の危険 工事中、湛水試験中の洪水の影響による下流部の安全確保	
社会的影響	左岸側は一部を除き保安林指定 両岸は近畿圏整備法の緑地保全地区指定 ダムサイト、湛水域、工事用地、ハイキング道の買収が必要 横断構造物(道路、ハイキング道、橋梁、水管橋など)への影響 JR 武田尾駅への道路、橋梁付け替え、神戸市水道の付け替え 廃線跡ハイキングコースの付け替え(ダムサイト等、約 70m の登り降り) ダム本体、減勢溝等による景観、高座岩等の名勝喪失 渓谷の景観の喪失(兩岸の岩石、植生の崩落による兩岸の渓谷美、高座岩、溝滝等の武田尾八景ほかの景観) 桜の園の入口周辺の景観一変(満水時約 150m 奥まで浸水、崩落) 親水箇所等レクリエーション場所の喪失 ハイキングコースのエスケープルートが少なく(最大約 3.5 km の間になし)洪水時の避難指示に難がある 前回ダム計画にあったレクリエーション施設(多目的ホール?)は不要	
運用・維持管理	保守点検、補修、改修、洪水後の洪水吐内土砂岩石等狭雑物除去、ダム底の堆積物除去(毎回必要) 洪水後のハイキング道(トンネル、橋梁等)の点検・清掃 上流河道内の流木等の常時除去 洪水吐内の常時監視システム 警報システム(洪水時、水量、ダム本体危険予知)	
工事期間	5~6年	
ダム工事費	300 億円(積算内容の検証が必要)	

以上